



●仕上げが映す日本の美

流麗な檜皮葺が印象的な関東最古の木造建築

大善寺薬師堂

養老二年（718）に行基菩薩が日川溪谷の岩上にて薬師如来像を刻み安置したのが開山と伝えられる甲州の古刹「大善寺」は、手に葡萄を持つ珍しい薬師如来像が祀られていることから別名・ぶどう寺としても有名だ。武田信玄亡き後、武田勝頼が織田徳川連合軍に敗走し、岩殿城で再興を図ろうと戦勝祈願した寺としても知られ、幕末には新政府軍と近藤勇率いる甲陽鎮撫隊が戦った「柏尾山の戦い」の舞台として浮世絵にも描かれている。

本尊である薬師三尊像を祀る薬師堂は弘安9年（1286）の刻銘があり、関東周辺では最も古い木造建造物。流麗な檜皮葺の屋根、内陣に須弥壇を設けて厨子を置く、鎌倉伝統の様式を今に伝え、国宝に指定されている。



大善寺 薬師堂

所在地：山梨県甲州市勝沼町

創建：1286年